

生涯を通じた心身の健康づくりに取り組む児童の育成  
～歯・口の健康づくりの実践を通して～

京都府八幡市立くすのき小学校

24学級635名

- 1 研究の目標 健康に対する関心や意欲を高め、基本的な生活習慣を確立し、主体的に健康な生活を営む児童を育てる。

2 実施した主な活動

(1) 年間を通じた取り組み

- ①歯科検診による児童の実態把握
- ②フッ化物洗口
- ③歯科衛生士によるブラッシング指導
- ④年6時間の授業
- ⑤養護教諭による保健指導
- ⑥授業における養護教諭・栄養教諭との連携
- ⑦給食後の歯みがき指導
- ⑧児童保健委員会による保健活動
- ⑨児童の意欲的な健康づくりにつながるようなポスターや掲示物の展示



「歯科衛生士による  
ブラッシング指導」

(2) 学校歯科医との連携

- ①学校、家庭、地域の連携による歯の大切さの啓発
- ②教職員の授業実践のための歯科医師による校内研修の実施

(3) 地域との連携

- ①学校公開日に合わせた歯科指導の実施
- ②学校保健会（学校保健委員会）を開催し家庭における生活習慣改善に向けた啓発活動



「立体掲示物の展示」



「保健委員による、ブラ  
ッシング呼びかけ活動」



「養護教諭による  
保健指導」

#### (4) 研究発表会

①日 時 平成23年2月10日(木) 14:10～16:30

#### ②日 程

13:40 14:10 14:55 15:10 16:30

受付	公開授業	移動・ 休憩	全体会			
			開会	実践発表	指導講評	閉会

#### ③公開授業

学年	教科	単元名	授業者
そよかぜ 学級	学級活動	よく食べるおやつ	長村 玲子 原口 詳一
1年	学級活動	歯に良いおやつの選び方	林 香
2年	学級活動	よくかんで食べよう	渋谷 歩
3年	学級活動	さとうのとりすぎ だいじょうぶ	望月 恵
4年	学級活動	歯肉炎って何だろう	波多野 友里
5年	学級活動	歯肉炎を防ごう	田中 英行
6年	学級活動	歯肉炎から歯周炎へ	杉山 尚

### 3、成果と課題

- 個別の歯の染め出しファイルを作成することで、回数を重ねるごとに前回は振り返ることができ、前回からの変容を確認することができた。
- 毎月歯みがき指導をすることで、歯についての科学的な知識を習得するだけでなく、生活習慣改善への意識の向上へとつながった。
- 定期的な歯科検診と健康相談により、未受診者を抽出するだけでなく、歯科医から直接みがき方の指導をしていただき、児童自身が自分の歯により関心を持つことができた。
- 歯と口の健康は生涯の生活に大きく影響する問題である。ただむし歯を治すだけではなく、食べ物を含め体全体の健康について考え児童自身が主体的に行動する力をつける必要がある。
- 学校保健会(学校保健委員会)等を通して、保護者や地域全体の歯、口の健康、さらに生涯を通して健康に生活ができる知識や実践力を広めていく。